

地域密着型金融の取り組み状況

(2022年4月1日～2023年3月31日)

2023年5月
遠軽信用金庫

当金庫の地域密着型金融（リレーションシップバンキング）は、金融庁の金融審議会報告書「地域密着型金融の取り組みについての評価と今後の対応について―地域の情報集積を活用した持続可能なビジネスモデルの確立を―」において、恒久的な枠組みとして推進すべきとの提言がなされたことを踏まえ、中期経営計画「えんしん「支援力の強化と変革への挑戦」3か年計画」及び「2022年度事業計画」の基本方針に掲げ、お取引先企業への支援及び地域経済への貢献に向けて取り組んでおります。

今般、2022年度における取り組み状況を報告いたします。

1. 全体的な取り組み状況

地域密着型金融の全体的な取り組み状況は、中期経営計画「えんしん「支援力の強化と変革への挑戦」3か年計画」及び「2022年度事業計画」の具体的施策に基づき、概ね計画どおり実施いたしました。

重点事項毎の取り組み概要は、次のとおりであります。

(1) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、お取引先企業の資金繰り支援や貸出条件緩和への取り組みなどの経営支援活動を積極的に推進いたしました。とりわけ、事業先をリストアップのうえ訪問活動を実施し、業況の把握や資金繰り支援に努めたほか、延滞中や条件緩和を希望しているお取引先に対しましては、ヒアリングを行い条件緩和について柔軟に対応いたしました。

また、経営相談会を開催し、お取引先の経営力強化に努めたほか、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見合わせていた、不動産賃貸業経営支援セミナー、えんしんビジネスクラブ設立総会、遠軽・紋別地方若手経営者交流会等を開催し、多くのお取引先に参加をいただきました。

[不動産賃貸業経営支援セミナー]



・2022年9月17日 お客様120名に参加いただきました。

[遠軽・紋別地方若手経営者交流会]



・2023年2月10日 お客様25名に参加いただきました。

[えんしんビジネスクラブ設立総会]



・2022年8月2日 お客様55名に参加いただきました。

- (2) 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底
目利き能力や事業承継支援能力の向上に向けた研修等への職員派遣及び外部講師
を招いた職員向け研修の実施等により、人材育成に努めました。
- (3) 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献
地域金融機関としてネットワークを広げ、専門家、専門機関と連携し、情報集積に
努めたほか、遠軽地方景況レポートなどの有用な経営情報の提供に努めました。
また、小学生及び高校生向け金融教育講座の実施や中小企業大学校旭川校の受講費
用助成など社会貢献活動にも努めました。

[小学生向け金融教育講座]



・2022年12月28日 小学生21名に参加いただきました。

[高校生向け金融教育講座]



・2022年12月14日に湧別高校、2023年1月20日に
遠軽高校でそれぞれ行いました。

[各種サービス等のご案内]

2. 進捗状況に対する評価

(1) 計画に掲げた取り組みの実施状況につきましては、総じて順調と評価しております。

特に、既往事業資金取引先を対象として、5月から6月及び11月から12月に延べ2、591先への訪問活動を展開し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、業況の把握や資金繰りについて支援することができたほか、条件緩和についても柔軟に対応することができたものと評価しております。

経営改善支援につきましては、個別の経営相談会を42回開催したほか、えんしんビジネスクラブ会員向けセミナー、不動産賃貸業経営支援セミナー及び遠軽・紋別地方若手経営者交流会を開催し、参加者から高い評価をいただきました。

また、中小企業経営者及び従業員を対象とした、中小企業大学校旭川校の研修受講費用の助成を行い、地域中小企業の事業活性化に貢献することができたものと評価しております。

[えんしんビジネスクラブ会員向けセミナー]



2022年12月2日 遠軽町芸術文化交流プラザ（メトロプラザ）にて、ラグビー元日本代表、今泉清氏を講師に迎えて、お客様44名に参加いただきました。

[経営相談会の開催]



・2022年7月26日、紋別支店にて。



・2022年7月26日、中湧別支店にて。

(2) 経営改善支援等の取り組み実績につきましては、経営支援先25先に対して経営指導を行い、厳しい経営環境でありながらも1先がランクアップした一方、1先がランクダウンという結果となりました。

3. 取り組み状況の詳細

具体的な項目毎の取り組み状況の詳細は、別添「地域密着型金融の取り組み状況表(2022年4月から2023年3月)」及び「経営改善支援の取組実績」のとおりであります。

地域密着型金融の取り組み状況表

(2022年4月から2023年3月)

項 目	取 り 組 み 状 況
ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化	
創業・新事業支援	
<ul style="list-style-type: none"> ○ アパート創業及びメディカル開業などの融資支援 アパート創業及びメディカル開業について、ハウスメーカーや医療機器販売会社等から情報を収集し、堅実な事業経営のノウハウについて提供を行うものであります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ アパート創業及びメディカル開業資金の2022年度の支援実績は、アパート創業22先1,956百万円、メディカル開業2先65百万円でありました。 ○ アパート創業は、資材の高騰から先数・金額とも前年を下回り、メディカル開業資金については、件数で1件上回った一方、金額では前年を下回る実績となりましたが、資金ニーズは認められることから、今後も継続して優良案件を発掘するとともに、堅実な事業経営のノウハウの提供を行う方針であります。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 商工会議所、商工会と提携した創業支援資金融資制度の活用促進 ネットワークを広げ、基盤地区の創業先等の資金ニーズにきめ細かく対応するため、創業支援資金「チャレンジ」を遠軽商工会議所、えんがる商工会、湧別町商工会及び佐呂間町商工会と提携して推進するものであります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2022年度の活用実績は、看板製作業の創業に伴う事務所新築資金1先7百万円、中華まん製造機械設備資金1先11百万円、美容室開業資金1先3百万円、ネイルサロン開業資金1先5百万円及び削蹄業開業資金1先4百万円であり、地域の活性化に貢献できたものと評価しております。 ○ 今後とも商工会議所及び各商工会との連携を密にし、創業・新事業に対する支援に努めていく方針であります。
経営改善支援	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 貸出条件緩和への取組 貸出条件緩和に関する相談は、従来どおり積極的にお受けし、既存貸出の条件変更等に対応しております。また、2013年3月末に金融円滑化法の期限が到来しましたが、引き続き条件変更等により柔軟に対応するものであり、延滞中、延滞傾向及び条件緩和を要望している債務者とヒアリングを行い、合理的で実現可能性の高い経営改善計画書を策定する等により、可能な限り貸出条件の変更に応じるものであります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2022年度に貸出期限延長等条件緩和を行った貸出は、36件807百万円であり、コロナ禍の長期化、原油価格高騰及び物価高騰等の影響に伴う相談及び条件変更等にも応じました。 ○ 従来の貸出条件緩和に関する相談のほか、2022年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響、物価高騰等に伴う相談及び条件変更等にも対応し、成果があったと評価しております。 ○ 今後も金融円滑化の観点から、引き続き可能な限り支援を目的とした貸出条件変更等に対する取り組みを行う方針であります。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 経営相談・支援業務の継続 厳しい地域経済環境を踏まえ、取引先企業の経営改善支援の取り組みを継続し、不良債権の増加抑制に努めるものであり、経営支援先25先の経営改善指導に努めるものであります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2022年度においては、経営支援先25先に対して経営指導を行い、厳しい経営環境でありながらも1先がランクアップした一方、1先がランクダウンという結果となりました。 ○ 2023年度においても、債務者区分のランクアップを図るため、継続して充実した支援活動を行っていく方針であります。

項 目	取 り 組 み 状 況
<p>○ 資金繰り支援 既往取引先に対して業況の聞き取りを行い、新たな資金ニーズの把握や金融円滑化に対応した貸出条件の変更等必要な措置を行い、取引先の安定経営を図るものであります。</p>	<p>○ 2022年度中に2回、当金庫と融資取引のある事業所を中心とした定例訪問活動を実施し、取引先の資金ニーズ等の把握に努めた結果、訪問先数延べ2,591先のうち、資金ニーズ有りの先が延べ246先、条件変更検討先が延べ4先、経営支援検討先が延べ1先、事業承継支援検討先が延べ7先、M&Aニーズ有りの先が延べ3先でありました。当金庫から能動的にアクションを起こしたことにより、様々なニーズに迅速な対応が図られ、また、当金庫に対する信頼が深まったと評価しております。</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症の影響により市況の回復に時間を要するものと思料されることから、引き続き、資金ニーズ等の発掘及び把握に向けた定例訪問活動を実施していく方針であります。</p>
<p>○ 経営相談会の開催 当金庫の取引先である中小企業の経営課題や事業承継問題の解決に寄与するため、中小企業庁令和4年度中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業、しんきん支援ネットワーク及び北海道信用保証協会等との連携による専門家派遣を活用した経営相談を実施し、取引先の課題解決に向けた取り組みを支援するものであります。</p>	<p>○ 2022年度は、経営相談会を13回開催し課題解決に向けた個別相談を42先に行いました。</p> <p>○ 個別相談を受けた取引先からの評価は高く、継続して実施してほしいとの依頼があり、経営相談会の効果を高く評価しております。</p> <p>○ 2023年度においても経営相談会を継続して実施し、取引先の経営力アップと経営者の抱える事業承継問題の解決につながる取り組みを継続して実施する方針であります。</p>
<p>○ セミナーの開催 当金庫取引先の課題解決や継続的な事業発展に貢献するため、「不動産賃貸業経営支援セミナー」、「えんしんビジネスクラブ会員向けセミナー」を開催し、中小企業経営者の経営改善及び継続的な事業発展を図るものであります。</p>	<p>○ 2022年9月、札幌市において、(一財)日本不動産研究所の吉野薫氏及び(株)北海道住宅通信社の友村太郎氏を講師に招き「人口減少社会における不動産の利活用について」、「大型化する賃貸物件の今後の動向、影響について」などをテーマに、札幌地区のアパートローン取引先を中心に120名に参加いただき「不動産賃貸業経営支援セミナー」を開催しました。</p> <p>○ 2022年12月に「えんしんビジネスクラブ」会員向けに、ラグビー元日本代表の今泉清氏を講師に招き「ラグビーワールドカップ日本代表奇跡の秘密～ポジティブチームトークが力を引き出す」をテーマにセミナーを開催し44名の会員に参加いただきました。</p> <p>○ 各セミナー後のアンケート結果から、大変有益であったとの声が多く、十分な成果があったと評価しており、今後も継続して取引先が求めるセミナーを開催していく方針であります。</p>
<p>○ 「えんしんビジネスクラブ」の設立及び「遠軽・紋別地方若手経営者交流会」の開催 遠軽・紋別地区の経営者に、セミナー及び懇親会を通じて交流の機会を提供し、経営者としての素養と見識を高めるとともに、企業の事業発展に寄与するため企画・開催するものであります。</p>	<p>○ 遠軽・紋別地区の経営者を対象に会員の相互交流及び情報交換を通じて、地域経済及び地域社会の発展、成長及び維持に貢献することを目的として「えんしんビジネスクラブ」を設立し153名に入会いただきました。また、2022年8月に、新型コロナウイルス感染症の影響で延期していた設立総会を開催し55名の会員に参加いただきました。</p> <p>○ 2023年2月に、遠軽及び紋別地方の若手経営者25名に参加いただき「遠軽・紋別地方若手経営者交流会」を開催し、北海道プロフェッショナル人材センターの堀敦史氏を講師に招き「道内企業におけるキャリア人材採用の現状と副業・兼業人材活用による企業の課題解決」をテーマにセミナー及び懇親会を開催しました。</p> <p>○ 参加者の評価は高く、継続して実施してほしいとの要望があることから、今後も継続して開催していく方針であります。</p>

項 目	取 り 組 み 状 況
事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底	
目利き能力の向上、人材の育成	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 目利き能力の向上、人材の育成 職員の審査能力の向上を図り、中小企業金融に関する経営相談機能の拡充を目指すものであります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2022年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による講座中止もありましたが、北信協が主催する「目利き力養成講座」に2名を派遣しました。また、外部講師を招いて「事業承継人材育成研修」を3回開催し17名が受講しました。 ○ 2023年度も目利き能力の向上等、職員を研修に派遣する予定であります。 ○ 今後も計画的に研修に取り組み、人材の育成に努めます。
地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献	
地域活性化につながる多様なサービスの提供	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 遠軽地方景況レポートなどの有用な経営情報の提供 取引先企業への有用な経営情報の提供に努めるものであり、信金中央金庫が取りまとめる「中小企業景況レポート」と、当金庫が作成する「遠軽地方景況レポート」を調査対象先等へ配付するものであります。また、「遠軽地方景況レポート」は、ホームページに掲載しております。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 四半期毎に、「中小企業景況レポート」及び「遠軽地方景況レポート」を調査対象先等へ配付するとともに、「遠軽地方景況レポート」については、ホームページに掲載し、取引先企業に有用な経営情報が提供できたものと評価しております。 ○ 今後も「遠軽地方景況レポート」の内容充実にも努める方針であります。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 金融教育講座の実施 金融知識や金銭感覚について学習することにより、貯蓄意義の理解、金融犯罪被害の防止及び多重債務の回避を図ることを目的に、遠軽地区の小学生及び高校生向けの金融教育講座を開催するものであります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2022年12月に湧別高校3年生（54名参加）、2023年1月に遠軽高校3年生（142名参加）を対象に、「多重債務に陥らないために」と題してクレジットカードの仕組み等を解説いたしました。 ○ 2022年12月に遠軽町内の小学3・4年生21名に参加いただき「えんしんマネー教室」を開催し、お小遣い帳の記入方法やお金の使い方などについて、勉強してもらいました。 ○ 参加した生徒には真剣に話を聴いていただき、講義の内容は十分に伝わったと評価していることから、今後も継続的に実施する方針であります。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 中小企業大学校旭川校研修受講費用の助成 地域の中小企業の事業活性化に資するため、中小企業の経営者や従業員が中小企業大学校旭川校の研修を受講する場合の受講費用を助成するものであります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2022年度は、6先249千円の受講費用を助成しました。 ○ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による一部講座の中止もありましたが、中小企業大学校旭川校の講座カリキュラムの中から希望する講座を受講いただき、地域の中小企業の事業活性化に貢献することができたものと評価していることから、今後も継続して実施する方針であります。

経営改善支援の取組実績

(2022年4月～2023年3月)

(単位:先、%)

	期初 債務者数	うち 経営改善支 援取組先数	α のうち期末 に債務者区分 がランクアップ した先数	α のうち期末 に債務者区分 が変化しな かった先数	α のうち再生 計画を策定し た先数	経営改善支援 取組率	ランクアップ率	再生計画 策定率
			β	γ	δ			
	A	α	β	γ	δ	α/A	β/α	δ/α
正常先 ①	1,965	10	/	10	10	0.5	/	100.0
要注意先 うちその他 要注意先 ②	132	13	0	12	13	9.8	0.0	100.0
要注意先 うち 要管理先 ③	1	1	0	1	1	100.0	0.0	100.0
破綻懸念先 ④	12	1	1	0	1	8.3	100.0	100.0
実質破綻先 ⑤	3	0	0	0	0	0.0	—	—
破綻先 ⑥	0	0	0	0	0	0.0	—	—
小計 (②～⑥の計)	148	15	1	13	15	10.1	6.6	100.0
合計	2,113	25	1	23	25	1.1	4.0	100.0